

事務事業名	生活道路整備事業	整理番号	33105-020
所管	土木課 企画調査・登記スタッフ		

事務事業の位置付け

期間	平成 17年度 ~ 平成 21年度	根拠法令・要綱等	
基本計画における位置付け	基本政策 3-3 歩行者と環境に配慮した交通体系の整備 政策 3-3-1 道路網の整備	関連政策	

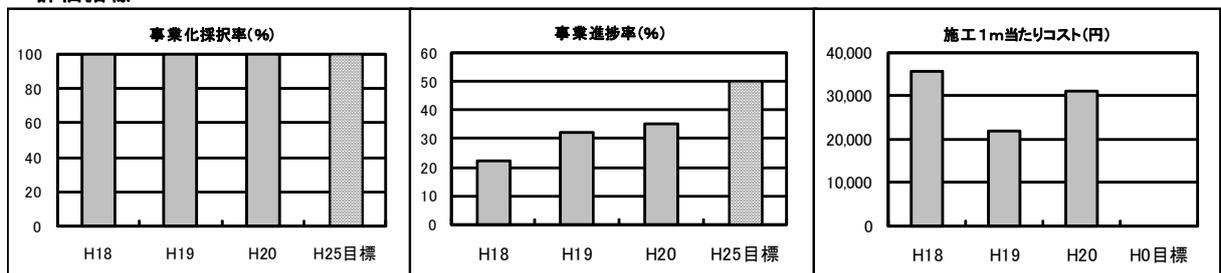
事務事業の内容

目的 (何のために)	市民生活の利便性を確保するため、現に住宅が立ち並んでいる地域において、幅員4m以上確保が困難な砂利道の市道を舗装整備する。
対象 (誰・何を)	沿線住民など
手段 (どのようなやり方で)	雨水排水の処理を考慮しながら、現状で舗装整備する。
成果 (どのような状態にしたいか)	歩行者等が通行しやすくなるようにし、住環境を向上させる。
事務事業の背景・住民の意向	幅員4m以下の道路は舗装整備されずにいるため、沿線住民からの舗装の要望が多い。
見直し改善の経過	市街地区域内の舗装整備を進めていたが、平成17年度に要綱の見直しをし、調整区域をも含んで地元からの要望を改めて募り、その要望に対し以後5年間で重点的に舗装整備を行い、舗装率をアップさせていく。

事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)												
平成18年度	施工箇所 23路線、延長L = 2,334.0m 外測量調査 要望路線数 = 162路線	<table border="1"> <caption>投入コスト(千円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>直接経費(上段)</th> <th>人件費(下段)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18年度</td> <td>約80,000</td> <td>約10,000</td> </tr> <tr> <td>19年度</td> <td>約100,000</td> <td>約10,000</td> </tr> <tr> <td>20年度</td> <td>約120,000</td> <td>約10,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	直接経費(上段)	人件費(下段)	18年度	約80,000	約10,000	19年度	約100,000	約10,000	20年度	約120,000	約10,000
年度	直接経費(上段)		人件費(下段)											
18年度	約80,000		約10,000											
19年度	約100,000	約10,000												
20年度	約120,000	約10,000												
平成19年度	施工箇所 39路線、延長L = 4,592m 外測量調査 要望路線数 = 231路線													
平成20年度	施工箇所 23路線、延長L = 3,984m 外測量調査 要望路線数 = 291路線													

評価指標



事務事業の評価

担当部署の評価		コメント	今後の方向性
観点別評価	必要性	確実に整備延長は、増えている。しかしながら要望箇所も増えており市民要望にこたえるためにも積極的に推進する必要がある。	継続
	有効性		
	効率性		
総合評価	A		

改革プラン

平成21年度からの対応	実施手法を一部改定し、事業の円滑化を図る。
平成22年度以降の対応	現状の方法で計画的に整備を進めていく。
改革により予想される成果	コストダウンにより事業の進捗が上がる。

事務仕分けの結果

仕分け区分	今後の方向性・具体的な対応
市の実施(改善)	<ul style="list-style-type: none"> ・地元要望による道路整備事業であるが、要望については、各支所長経由とする。 ・要望を受けた個所について、整備の必要性を十分協議する。
仕分け理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業規模及び事業費の縮減を図る。 ・財産区繰入金8割の事業であるが、各区からの要望の精査が必要。 	